

# 地域包括ケア「見える化」システムを活用した 介護保険事業の現状分析

---

鈴鹿亀山地区広域連合  
(令和6年度実績)

## ■目的

- 地域包括ケア「見える化」システムは、介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するために、厚生労働省が提供している情報システムである。この地域包括ケア「見える化」システムを活用して地域間の比較を行うことで、本広域連合の特徴や課題を把握する。

## ■比較対象

- 全国平均
- 三重県平均
- 県内の人口10万人以上の市（津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市）

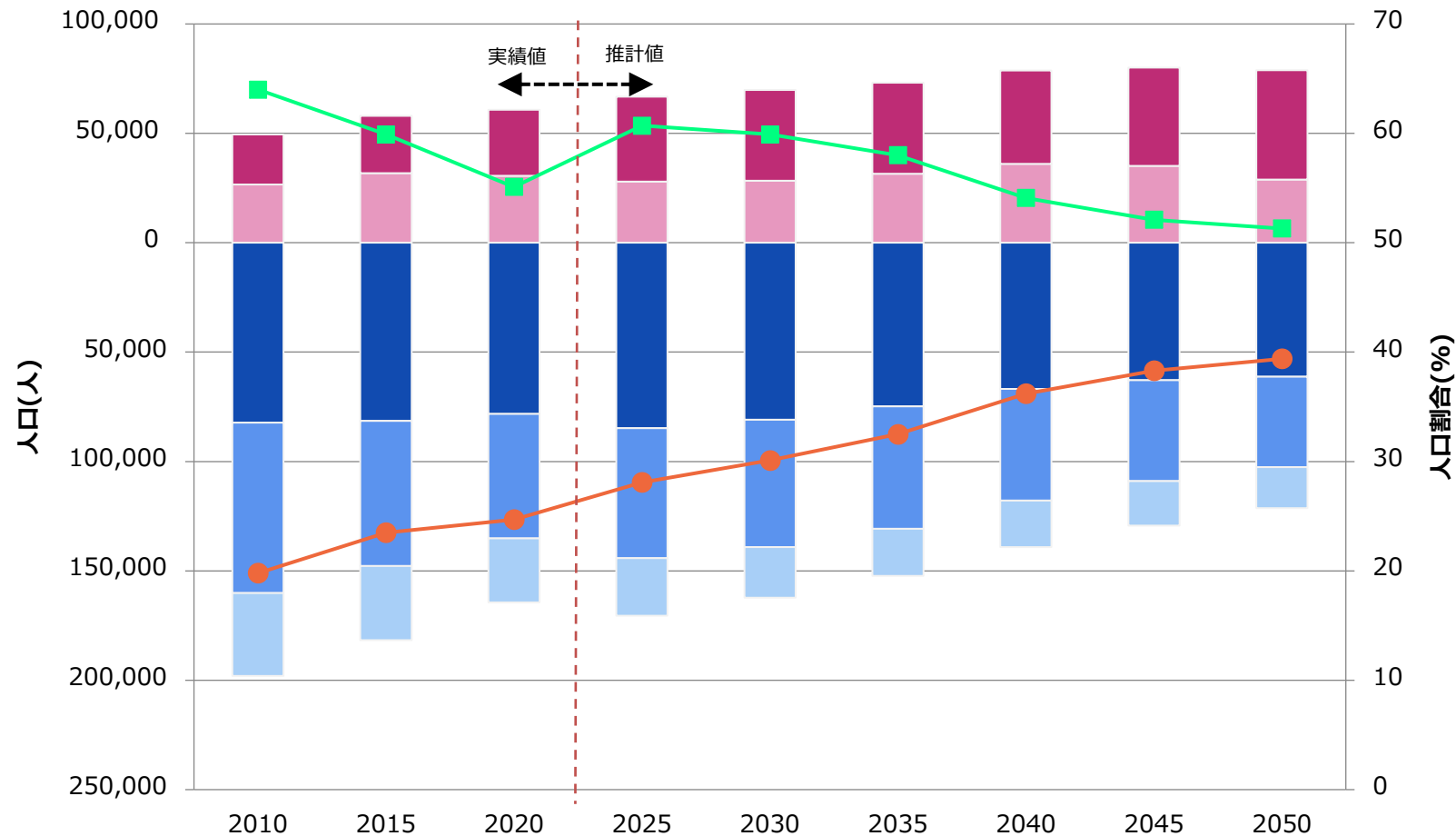
	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
人口（人）	245,505	274,537	305,424	122,765	159,145	138,613
高齢者数（人）	60,746	80,745	78,647	39,098	47,785	37,083
高齢化率（％）	24.7	29.4	25.8	31.8	30.0	26.8

## ■比較項目

出典 令和2年国勢調査

- 認定の状況
- 給付の状況（在宅サービス、居住系サービス、施設系サービス）
- サービス提供体制の状況 等

## 鈴鹿亀山地区広域連合の人口の推移



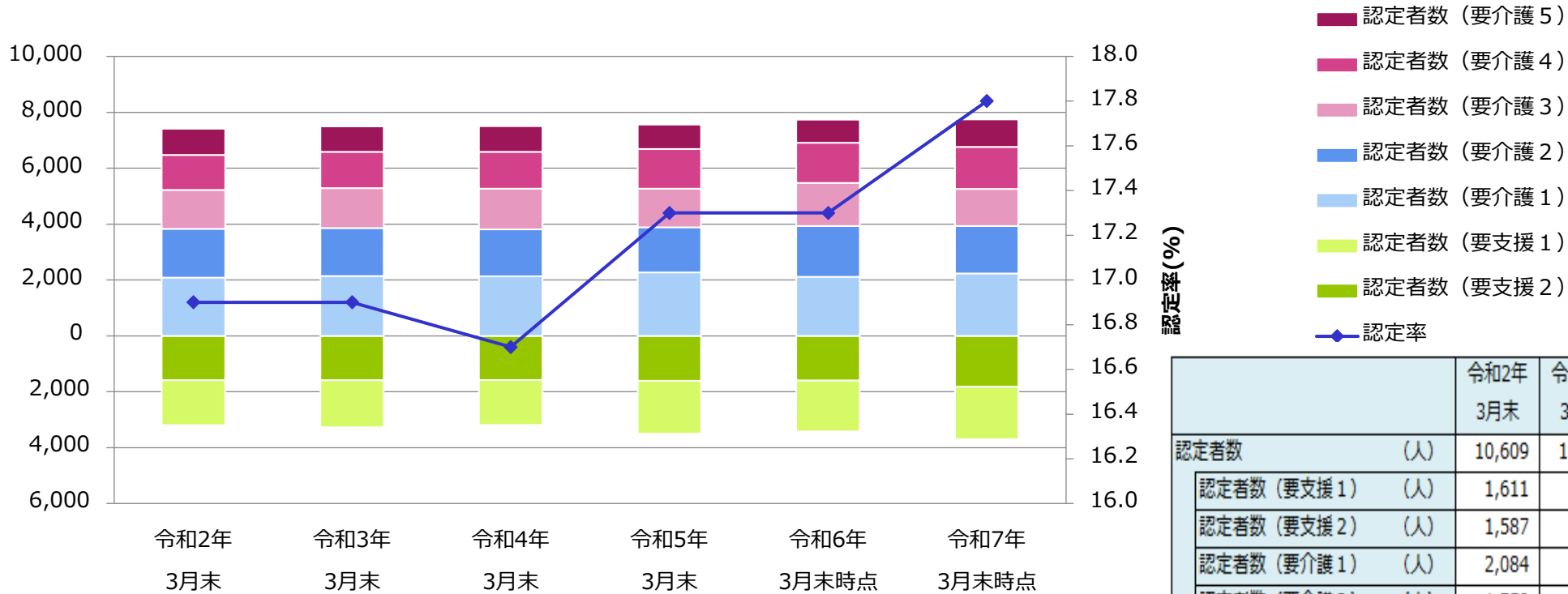
鈴鹿亀山地区広域連合の高齢化率の降順 (2020年10月時点)		
三重県内	23番目	25保険者
全国	1,420番目	1,570保険者
(2025年の推計値)		
三重県内	21番目	25保険者
全国	1,328番目	1,558保険者
(2040年の推計値)		
三重県内	16番目	25保険者
全国	1,188番目	1,558保険者

- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 15歳未満
- 15歳～40歳未満
- 40歳～65歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」  
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

# ■ 認定率の推移

鈴鹿亀山地区広域連合の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



● 令和6年度末の認定率は17.8%と令和5年度末17.3%から0.5%上昇したが、引き続き全国19.7%、県19.5%を下回っている。団塊の世代が75歳以上となり、全国及び県も認定率が増加する傾向にある。本広域連合は、認定事務の遅れから、各年度の認定率が一定せず、経年比較が難しい状況にある。

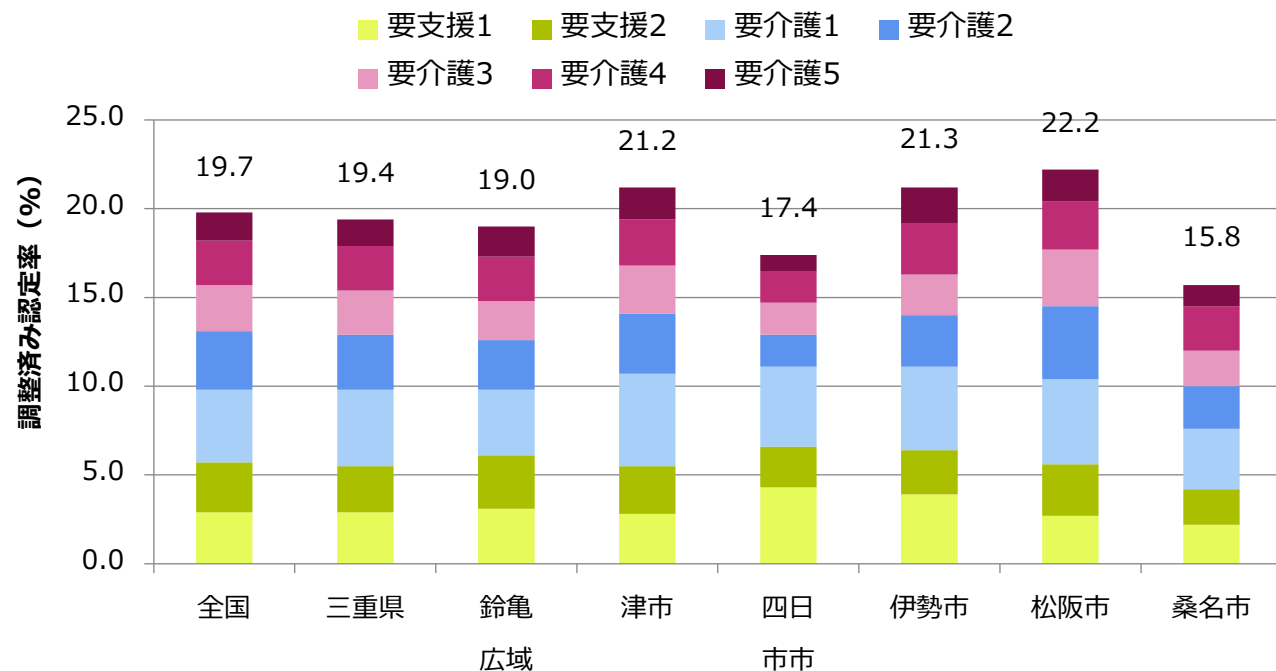
	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末時点	令和7年 3月末時点
認定者数 (人)	10,609	10,760	10,690	11,059	11,154	11,442
認定者数（要支援1） (人)	1,611	1,676	1,608	1,885	1,819	1,873
認定者数（要支援2） (人)	1,587	1,591	1,576	1,611	1,601	1,825
認定者数（要介護1） (人)	2,084	2,143	2,133	2,268	2,117	2,232
認定者数（要介護2） (人)	1,750	1,713	1,681	1,621	1,818	1,697
認定者数（要介護3） (人)	1,392	1,433	1,457	1,379	1,540	1,334
認定者数（要介護4） (人)	1,249	1,294	1,317	1,417	1,434	1,501
認定者数（要介護5） (人)	936	910	918	878	825	980
認定率 (%)	16.9	16.9	16.7	17.3	17.3	17.8
認定率（三重県） (%)	18.5	18.7	18.8	18.9	19.2	19.5
認定率（全国） (%)	18.4	18.7	18.9	19.0	19.4	19.7

（出典）令和3年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度から令和6年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」

# 調整済み認定率 (他市比較)

※調整済み認定率とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率です。

## 調整済み認定率（要介護度別）（令和6年(2024年)）



	全国	三重県	鈴亀 広域	津市	四日 市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	2.9	2.9	3.1	2.8	4.3	3.9	2.7	2.2
要支援2	2.8	2.6	3.0	2.7	2.3	2.5	2.9	2.0
要介護1	4.1	4.3	3.7	5.2	4.5	4.7	4.8	3.4
要介護2	3.3	3.1	2.8	3.4	1.8	2.9	4.1	2.4
要介護3	2.6	2.5	2.2	2.7	1.8	2.3	3.2	2.0
要介護4	2.5	2.5	2.5	2.6	1.8	2.9	2.7	2.5
要介護5	1.6	1.5	1.7	1.8	0.9	2.0	1.8	1.2
【地域】合計調整 済み認定率	19.7	19.4	19.0	21.2	17.4	21.3	22.2	15.8

（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

- 調整済み認定率は、全国平均、県平均を下回り、県内6市の中では3番目に低いですが、介護度別にみると要支援1・2の軽度の割合が高い。

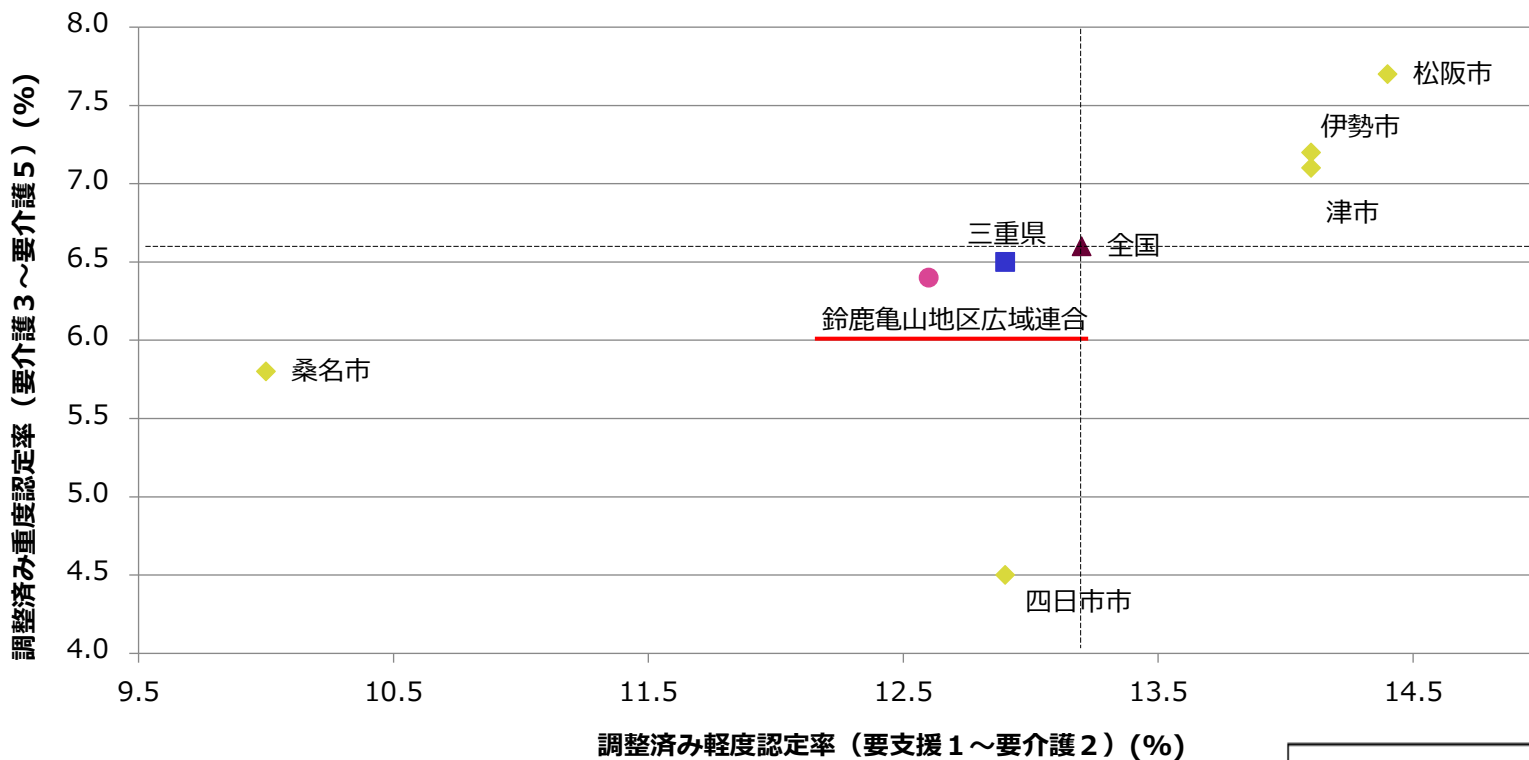
調整済み認定率が低い要因としては、第1号被保険者に占める後期高齢者の割合が56.5%と全国平均57.6%、県平均57.9%を下回り、県内6市中で1番低いことが挙げられる。

# ■要介護・要支援調整済み認定率 (他市比較)

※調整済み認定率とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率です。

## 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布 (令和6年(2024年))

▲ 全国 ■ 三重県 ● 鈴鹿亀山地区広域連合 ◆ その他地域



● 調整済みの軽度認定率及び重度認定率はともに全国平均、県平均をやや下回っている。要介護3以上の重度認定率は昨年度と同じ6.4%で、県内6市中3番目に低い。要支援1から要介護2までの軽度認定率12.6%で0.4%増加したが、県内6市中、2番目に低い。

(時点) 令和6年(2024年)

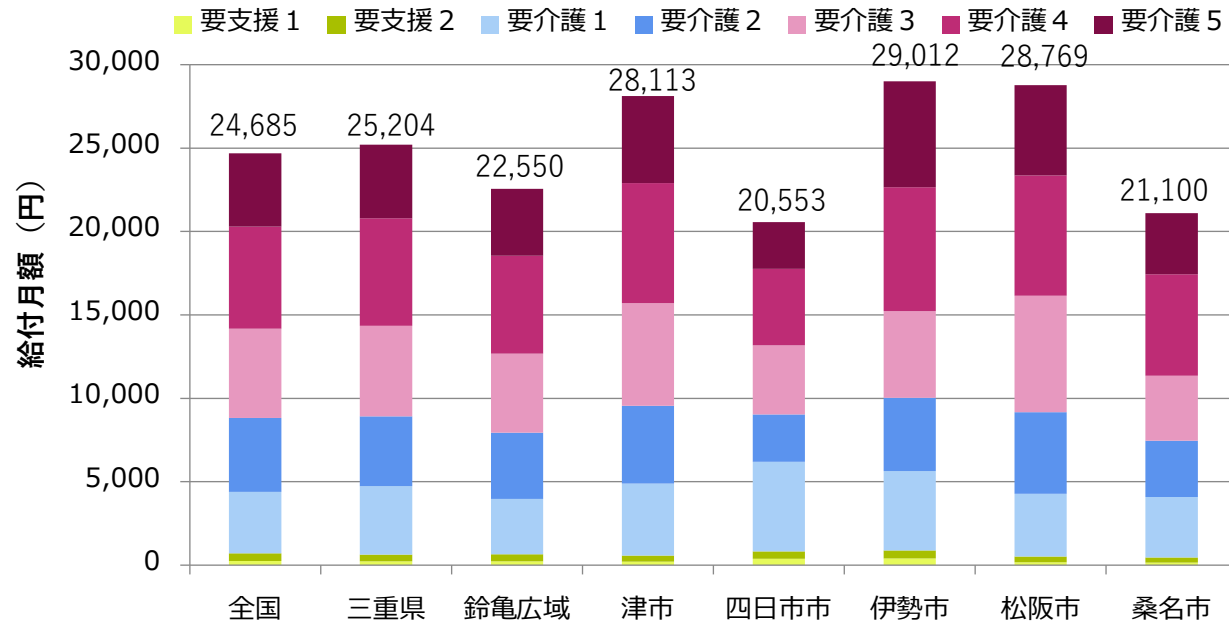
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

		全国	三重県	鈴亀 広域	津市	四日 市市	伊勢市	松阪市	桑名市
調整済み重度認定率	(%)	6.6	6.5	6.4	7.1	4.5	7.2	7.7	5.8
調整済み軽度認定率	(%)	13.2	12.9	12.6	14.1	12.9	14.1	14.4	10.0

# ■ 給付の状況 全体

## 1人あたりの給付月額（他市比較）

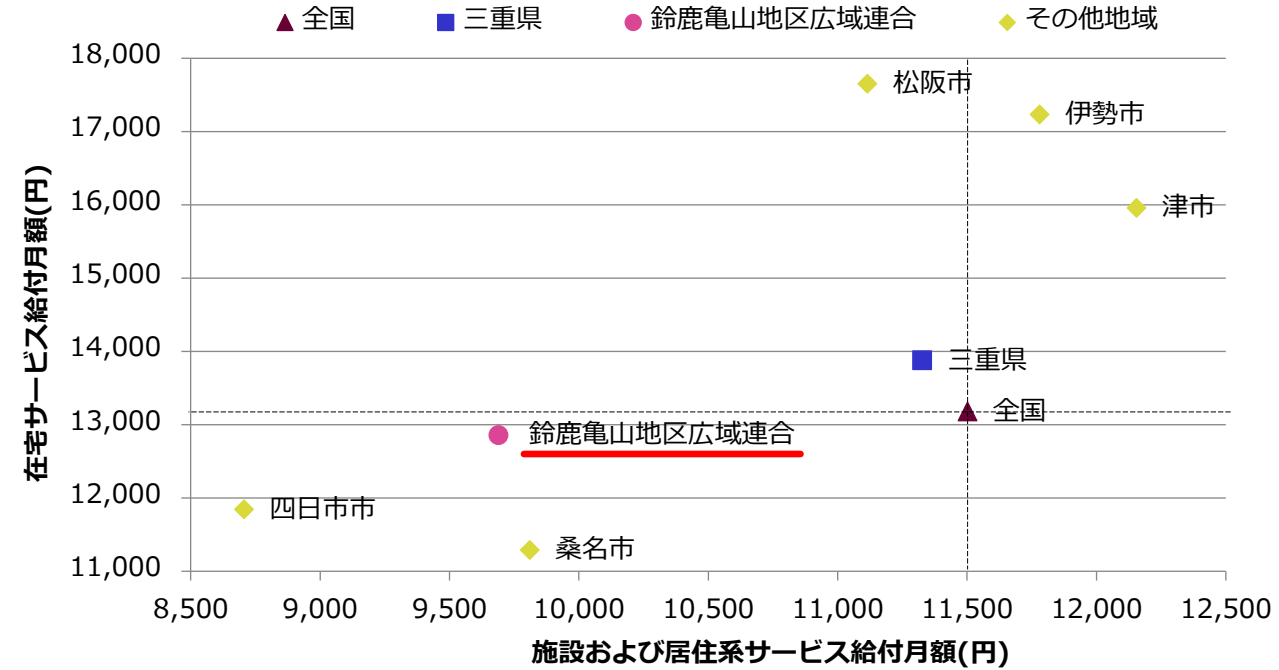
第1号被保険者1人あたり給付月額（要介護度別）（令和6年(2024年)）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和6年(2024年)）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 第1号被保険者1人あたりの給付月額は全国平均、県平均を下回り、県内6市中で3番目に少ない。サービス区分別には在宅、施設及び住居系ともに全国平均、県平均を下回っており、特に施設及び住居系サービスが低い。また、県内6市でみると在宅サービスは四日市市、桑名市を上回っており、施設及び住居系サービスでは四日市市を上回っている。

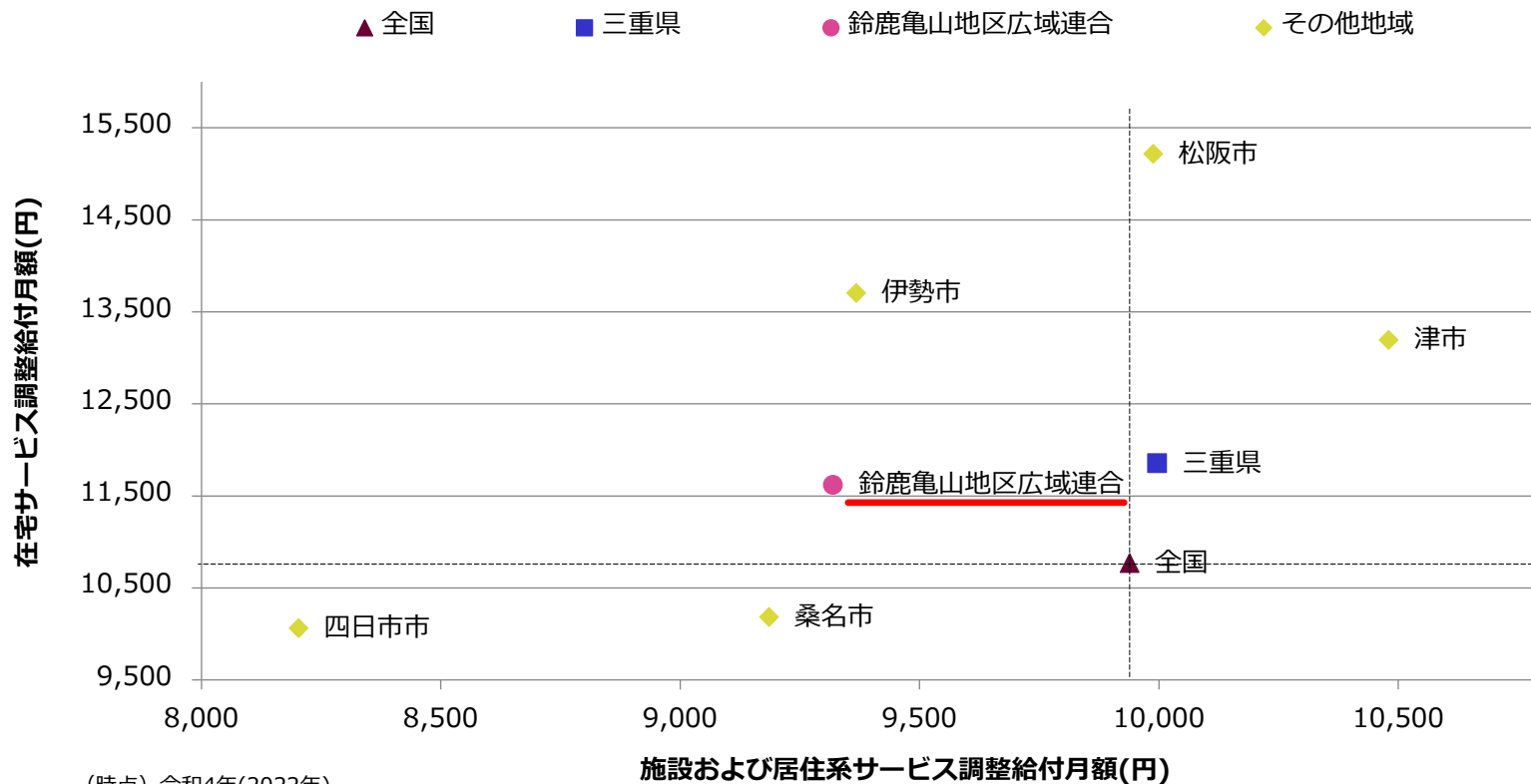


# ■ 給付の状況 全体

## 調整済み1人あたりの給付月額（サービス別）

※調整済み認定率とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率です。

### 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和4年(2022年)）



● 調整済みの第1号被保険者1人あたりの給付月額は、総額で県平均は下回っているが全国平均を上回っている。県内6市中で3番目に低い。

サービス区分別には、在宅が全国平均より高く、施設及び住居系は低い。調整済み認定率は全国平均を下回っていることから、在宅のサービスが利用しやすい環境にあり利用が多くなっていることが要因として考えられる。

（時点）令和4年(2022年)

（出典）「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

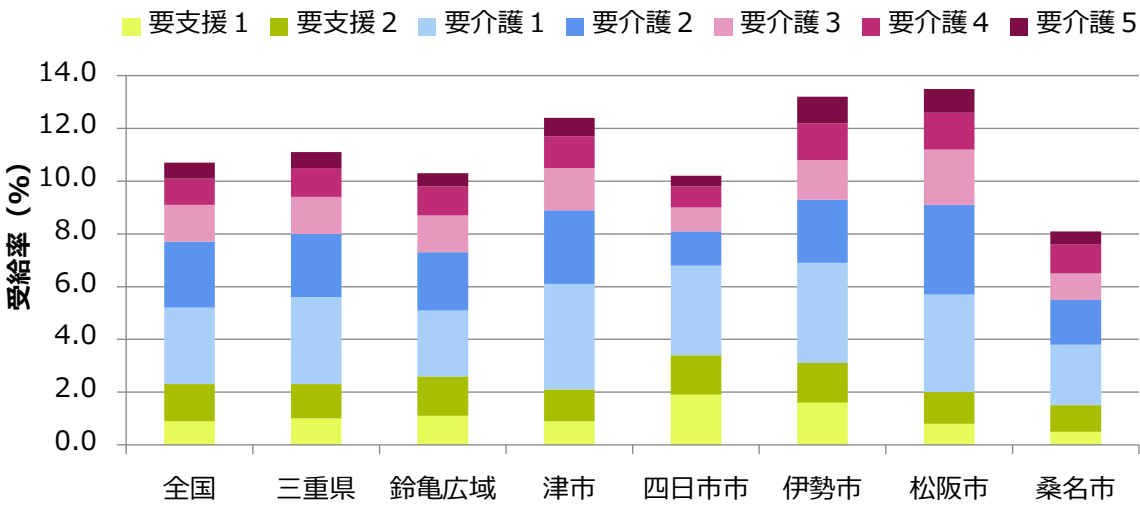
調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
施設サービス	7,327	8,087	7,231	8,388	7,175	7,019	8,296	6,862
居住系サービス	2,612	1,909	2,088	2,092	1,028	2,349	1,692	2,324
在宅サービス	10,769	11,856	11,621	13,196	10,062	13,704	15,215	10,183
総額	20,707	21,852	20,940	23,676	18,265	23,072	25,203	19,368



# ■ 給付の状況 在宅サービス

## 受給率・1人あたりの給付月額（他市比較）

受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和6年(2024年)）



受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（在宅サービス）  
（令和6年(2024年)）

	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	21,845	21,057	20,318	21,039	19,737	22,567	20,233	24,281
要支援2	29,388	27,768	26,730	26,747	28,706	30,713	27,317	28,680
要介護1	92,461	95,983	101,619	87,268	118,349	97,299	83,346	108,643
要介護2	124,433	126,457	133,303	125,446	151,553	137,925	114,689	134,905
要介護3	191,053	192,926	189,255	198,907	213,113	201,874	196,455	194,086
要介護4	236,125	236,061	231,991	246,136	262,230	237,622	239,514	226,711
要介護5	297,326	291,677	286,888	302,805	308,097	301,938	306,070	288,991
合計	122,463	124,512	123,643	127,193	117,653	130,654	130,623	137,442

（時点）令和6年(2024年)  
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

（時点）令和6年(2024年)  
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

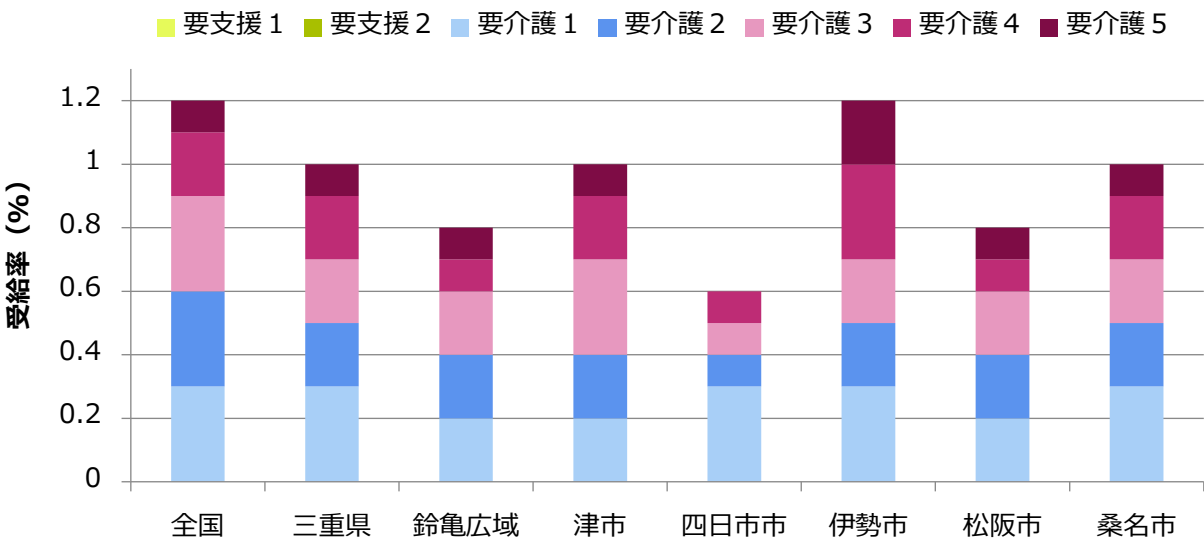
	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	0.9	1.0	1.1	0.9	1.9	1.6	0.8	0.5
要支援2	1.4	1.3	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	1.0
要介護1	2.9	3.3	2.5	4.0	3.4	3.8	3.7	2.3
要介護2	2.5	2.4	2.2	2.8	1.3	2.4	3.4	1.7
要介護3	1.4	1.4	1.4	1.6	0.9	1.5	2.1	1.0
要介護4	1.0	1.1	1.1	1.2	0.8	1.4	1.4	1.1
要介護5	0.6	0.6	0.5	0.7	0.4	1.0	0.9	0.5
	10.7	11.1	10.3	12.4	10.2	13.2	13.5	8.1

● 在宅サービスの受給率は全国平均、県平均ともに下回っており、県内6市中で3番目に低い状況にあるが、要支援では全国平均、県平均を上回っている。

受給者1人あたりの給付月額は県平均は下回っているが全国平均を上回っている。県内6市中では2番目に低い。

本広域連合の受給率及び受給者1人あたりの給付月額は全国平均に近いが、受給率が低く給付月額が高いのは、報酬算定の地域区分の影響によるものと考えられる。

受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和6年(2024年)）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3
要介護2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
要介護3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2
要介護4	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2
要介護5	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0.2	0.1	0.1
合計	1.2	1.0	0.8	1.0	0.6	1.2	0.8	1.0

受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（居住系サービス）（令和6年(2024年)）

	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	60,436	60,512	64,008	59,580	56,038	61,694	61,566	62,686
要支援2	108,745	118,808	122,470	97,400	162,149	113,182	93,812	106,838
要介護1	205,516	210,451	224,271	192,432	230,061	190,862	199,817	235,249
要介護2	227,111	228,953	244,806	226,010	240,937	214,742	219,083	247,137
要介護3	244,550	242,748	256,827	241,837	245,965	227,011	229,480	249,351
要介護4	251,362	252,966	261,310	258,648	264,069	242,952	254,689	261,055
要介護5	268,065	265,607	271,829	267,511	272,282	258,811	255,723	276,637
合計	224,734	227,656	244,546	224,706	234,780	214,559	224,207	239,509

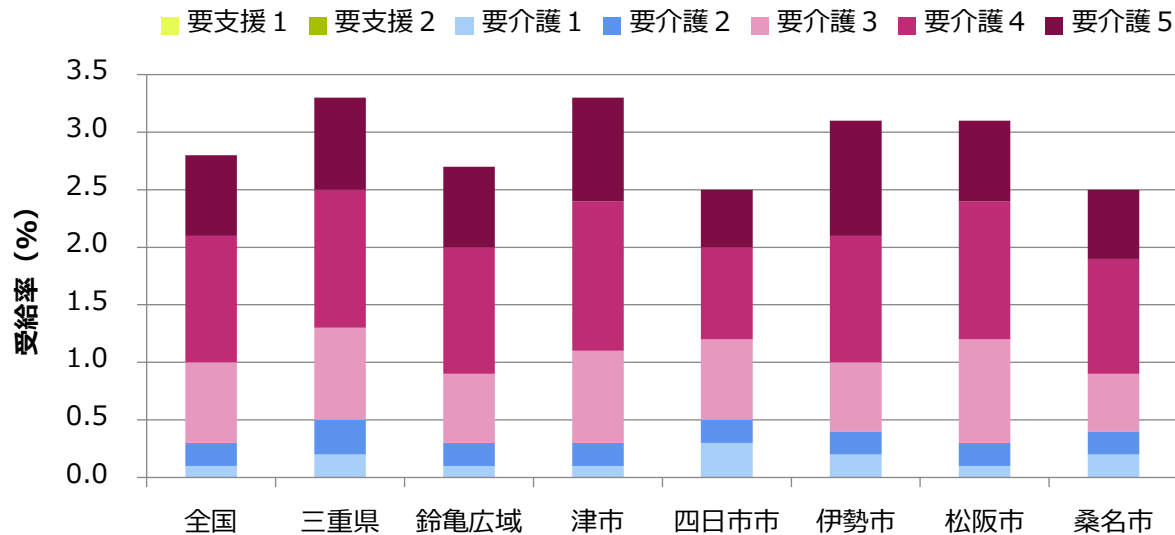
（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

● 居住系サービスの受給率は全国平均、県平均を下回っている。県内6市中では松阪市と同じで2番目に低い。一方で受給者1人あたりの給付月額は全国平均、県平均、県内6市の全てを上回っており、最も高く、特に要介護3以上が高い。本広域連合と桑名市には地域密着型特定施設入居者生活介護が所在することも影響していると思われる。

# ■ 給付の状況 施設系サービス 受給率・1人あたりの給付月額（他市比較）

受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和6年(2024年)）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（施設サービス）  
（令和6年(2024年)）

	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	257,973							
要支援2	170,413							
要介護1	253,910	257,005	260,426	259,914	265,213	243,303	257,070	263,977
要介護2	270,880	269,136	273,917	280,868	279,215	257,369	267,790	272,784
要介護3	275,804	274,027	275,762	280,335	279,970	270,384	276,531	281,651
要介護4	296,465	291,672	291,917	296,214	297,558	289,059	293,983	301,078
要介護5	317,698	310,410	308,598	316,771	316,931	308,285	314,331	321,528
合計	292,429	288,078	290,403	295,222	291,298	286,359	290,688	296,744

（時点）令和6年(2024年)

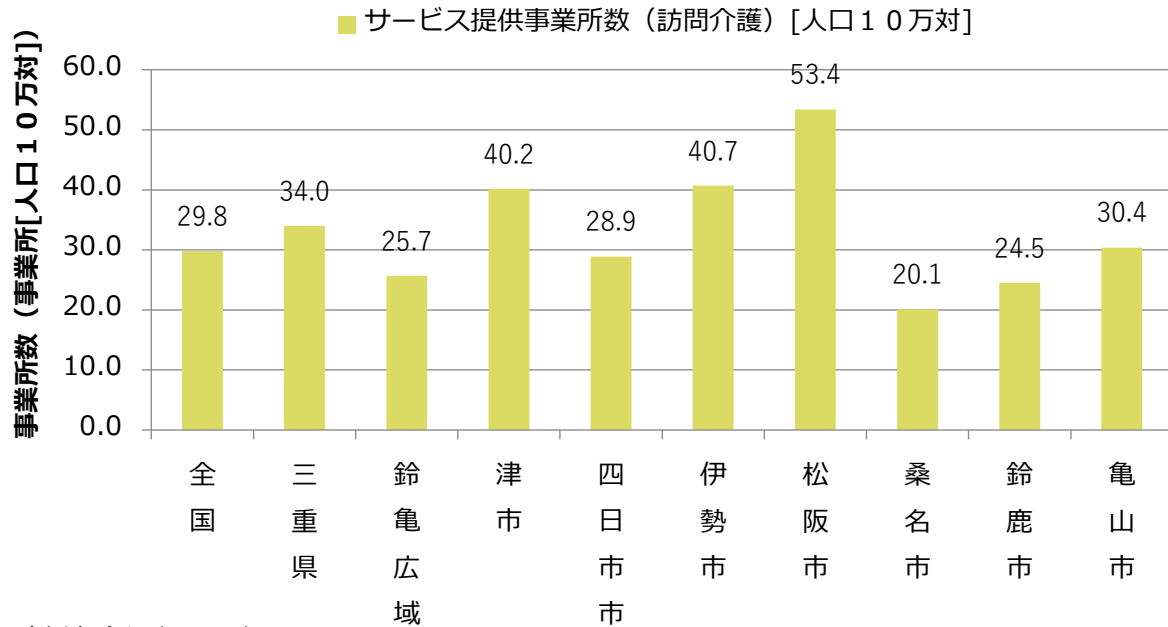
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

	全国	三重県	鈴亀広域	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2
要介護2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
要介護3	0.7	0.8	0.6	0.8	0.7	0.6	0.9	0.5
要介護4	1.1	1.2	1.1	1.3	0.8	1.1	1.2	1.0
要介護5	0.7	0.8	0.7	0.9	0.5	1.0	0.7	0.6
	2.8	3.3	2.7	3.3	2.5	3.1	3.1	2.5

● 居住系サービスの受給率は全国平均、県平均ともに下回っており、県内6市中では3番に低い。一方で受給者1人あたりの給付月額は全国平均より低い、県平均は上回っている。県内6市中4番目に低い状況である。低い介護度の給付月額が高い傾向にある。

# ■ 事業所数と受給率・1人あたりの給付月額 訪問介護（他市比較）

## サービス提供事業所数（訪問介護）（令和5年(2023年)）

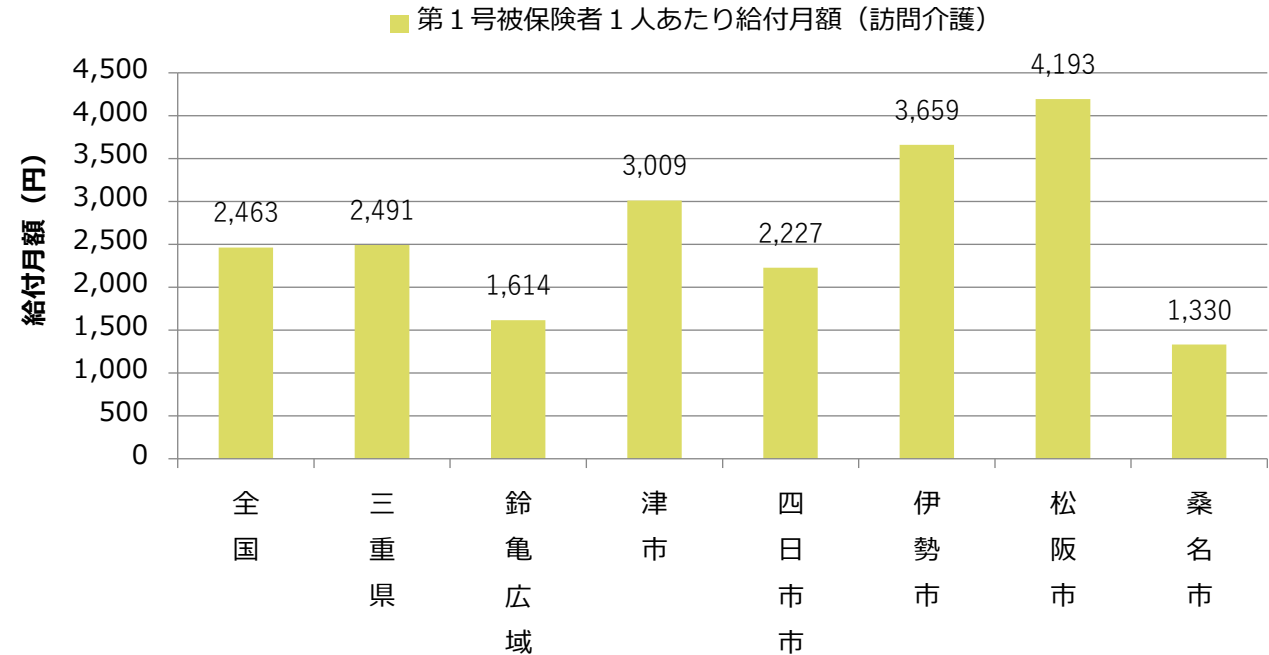


（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※事業所数は令和4年度が見える化システムで抽出できる最新の値である。

## 第1号被保険者1人あたり給付月額（訪問介護）（令和6年(2024年)）



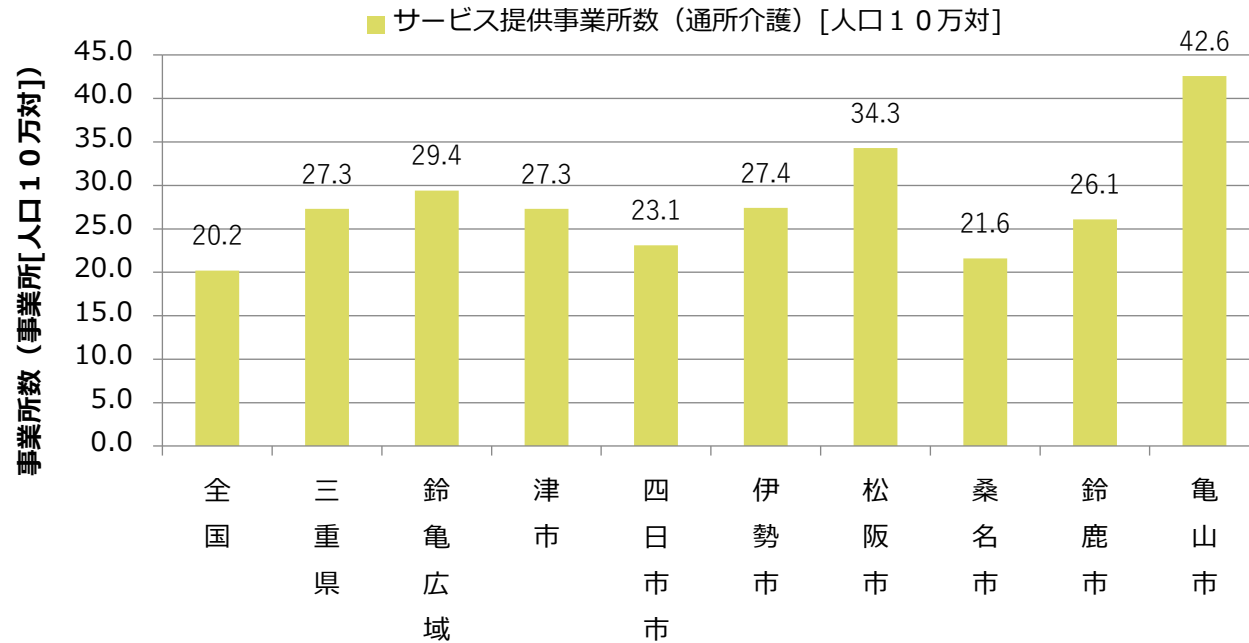
（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 在宅サービスのうち訪問介護の人口10万人あたりの事業所数は25.7と全国平均、県平均を下回っている。県内6市中では桑名市に次いで2番目に少ない。  
第1号被保険者1人あたりの給付月額も全国平均、県平均を下回っており、県内6市中2番目に低い。

# ■ 事業所数と受給率・1人あたりの給付月額 通所介護（他市比較）

サービス提供事業所数（通所介護）（令和5年(2023年)）

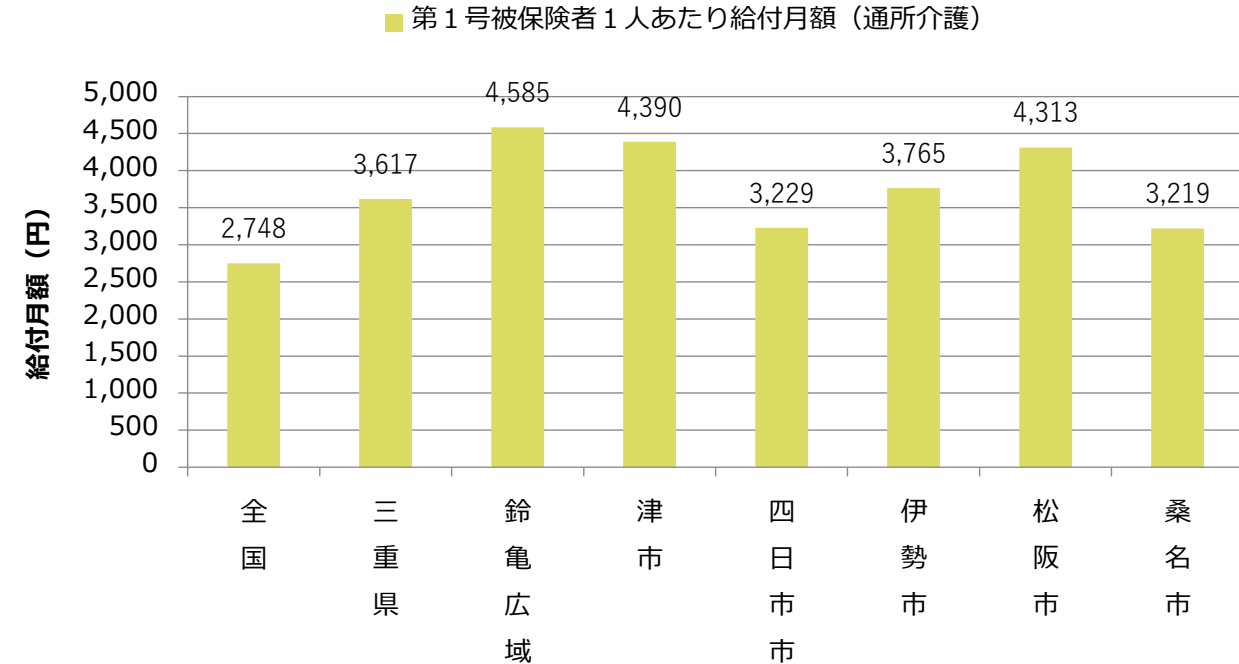


（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※事業所数は令和5年度が見える化システムで抽出できる最新の値である。

第1号被保険者1人あたり給付月額（通所介護）（令和6年(2024年)）



（時点）令和6年(2024年)

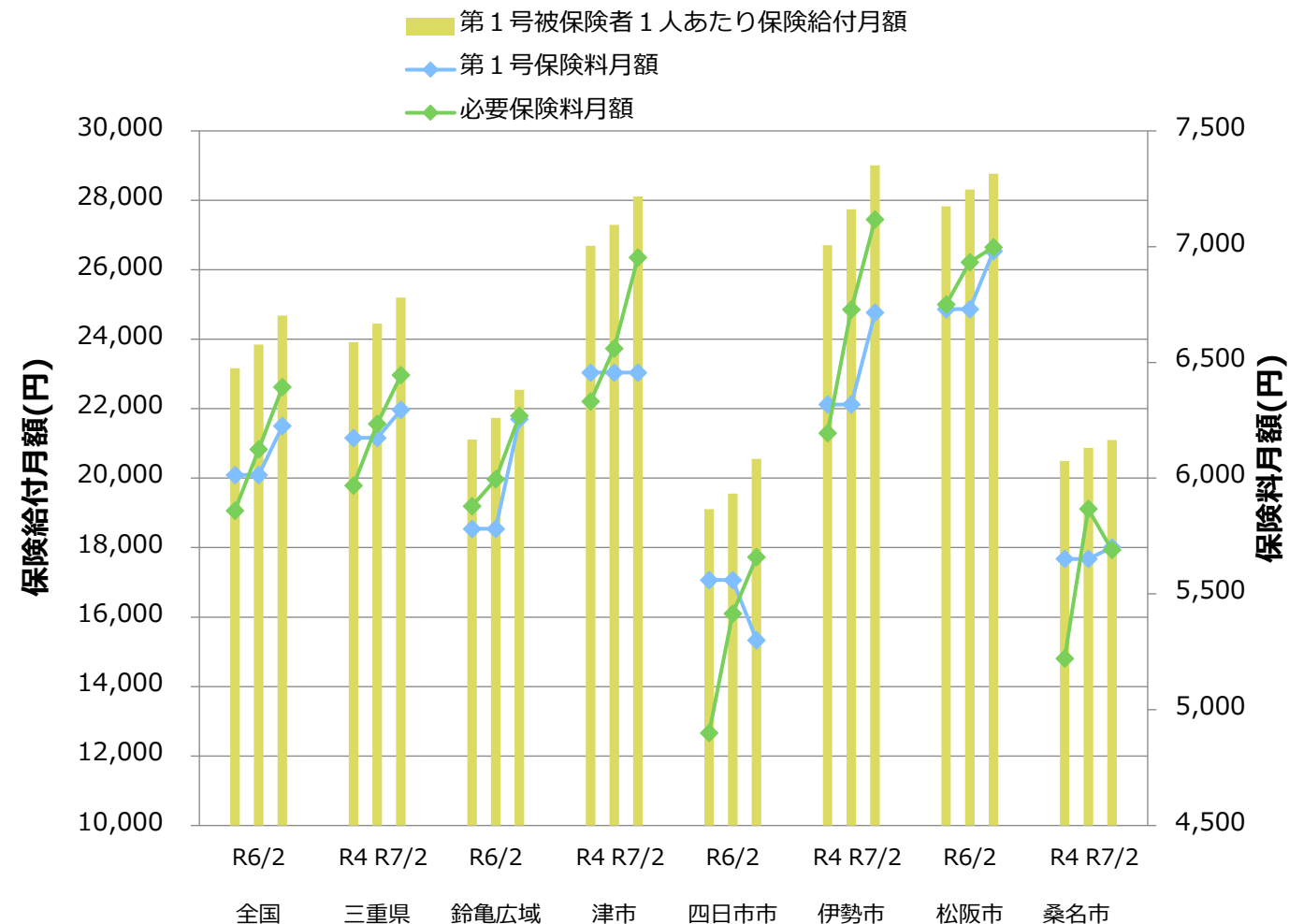
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 在宅サービスのうち通所介護の人口10万人あたりの事業所数は29.4と全国平均、県平均を大きく上回っており、県内6市中では松阪市に次いで2番目に多い。  
1号被保険者1人当たりの給付月額も全国平均、県平均を上回っており、県内6市中で最も高い状況にある。これは、施設数が多いだけでなく受給者1人あたりの利用回数が13.4回と多いことが要因として考えられる。



# ■ 月額保険料と必要保険料 (他市比較)

第1号被保険者1人あたり保険給付月額・第1号保険料月額・必要保険料月額



(時点) 令和4年(2022年).令和5年(2023年).令和6年(2024年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および介護保険事業計画報告値 Hxx/Mと表示されている年度は、M月サービス提供分までの数値を用いて、当該年度の指標値を算出しています。

鈴鹿亀山地区広域連合の保険料の推移

		第7期			第8期			第9期
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (R6/2月 サービス 提供分まで)	令和6年度 (R7/2月 サービス 提供分まで)
必要保険料額（合計）	(円)	5,504	5,616	5,692	5,964	5,879	5,995	6,270
必要保険料額（在宅サービス）	(円)	2,847	2,866	2,894	3,067	3,063	3,063	3,238
必要保険料額（居住系サービス）	(円)	468	482	488	502	489	488	512
必要保険料額（施設サービス）	(円)	1,662	1,704	1,730	1,833	1,813	1,824	1,928
必要保険料額（その他）	(円)	527	564	580	562	514	620	592
保険料基準額	(円)	5,781	5,781	5,781	5,781	5,781	5,781	6,255
保険料基準額（三重県）	(円)	6,104	6,104	6,104	6,174	6,174	6,174	6,295
保険料基準額（全国）	(円)	5,784	5,784	5,784	6,014	6,014	6,014	6,225

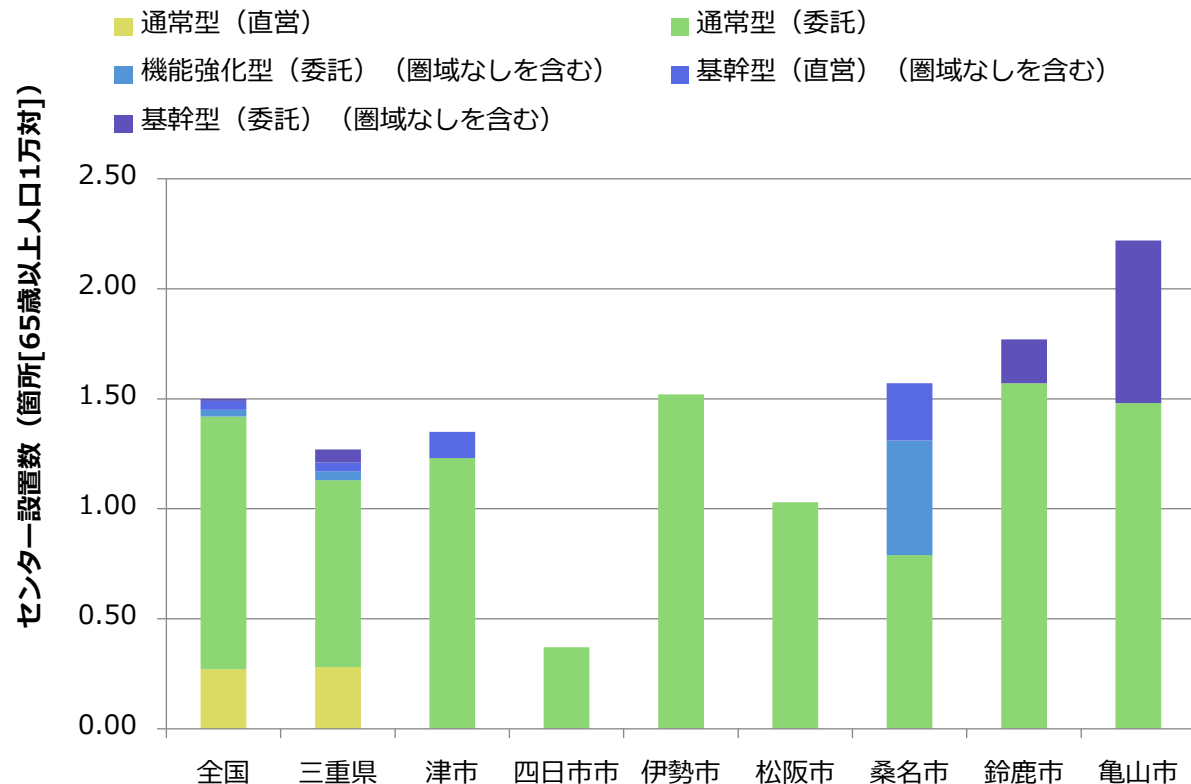
(出典) 【必要保険料額】平成30年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和5年度から令和6年度：「介護保険事業状況報告(月報)」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

- 第9期計画期間の保険料は6,255円で県平均を下回っているが全国平均は上回っている。県内6市では3番目に低い。  
本広域連合は、第8期の期間を通じて必要保険料月額が保険料月額を上回っていたため、将来に渡り安定した介護保険の運営に資するため、他市のように、保険料の不足がないバランスの取れた保険料の設定をめざして、第9期に保険料を改定したが、令和7年2月実績で若干必要保険料が上回る結果となった。

# ■地域包括支援センターの設置状況（他市比較） ・ まとめ

センター設置数[65歳以上人口1万対]（令和6年(2024年)）



●地域包括支援センターの65歳以上人口1万人に対する設置数は、鈴鹿市、亀山市とも全国平均、県平均を上回っており、県内7市で最も設置数が多い。これは、通常型を多く設置しているだけでなく、通常型を統括する目的で基幹型を両市に設置していることが影響している。

## ●まとめ

本広域連合の状況としては、高齢化率、認定率ともに低い状況にあり、給付の状況としても全国平均、県平均を下回っている。未調整の認定率が低く、調整後認定率が高くなっているのは、高齢者、特に後期高齢者が少ないためである。認定率としては軽度の認定率が高い傾向にある。また在宅や居住系サービスの受給者1人あたりの給付月額が多い。なかでも通所介護は施設数も多く、軽度の段階から安心してサービスを利用できる環境にある。一方で、本広域連合は団塊ジュニア世代が多く、今後も介護ニーズの増加が見込まれる中で、軽度者がそのまま重度に移行すると給付費の増加につながることから、将来にわたり安定した介護保険を運営するために、地域包括支援センターの設置数が多いといった強みを活かして、介護予防・重度化防止や給付適正化に取り組むことが重要である。